

あしたば

令和8年2月16日発行

現在会員数 250名

男性 134名

女性 116名

(R8. 1. 31現在)

題字：雨宮博雄

編集・発行 公益社団法人八丈町シルバー人材センター

〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2

TEL. 04996-2-4666 FAX. 04996-2-5355

E-mail hachijo@sjc.ne.jp

URL. <https://www.sjc.ne.jp/hachijo/>

理事会開催報告 1月21日(水)午前10時から、八丈町役場大会議室において「第9回理事会」が開催されました。主な議題は次の通りです。

1 承認事項

1)会員の入退会について

入会5名について承認

2)諸規程の一部改正について

職員給与規程

旅費規程

職員の期末手当に関する基準

職員の勤勉手当に関する基準

準職員就業規則

原案通りすべて承認

3)令和7年度収支補正予算書(案)について

原案通りすべて承認

4)令和8年度役員賠償責任保険の加入手続きについて

事務局より説明し承認

2 報告事項

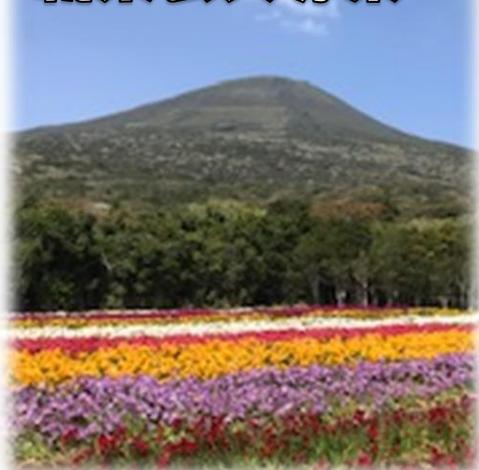
1)令和7年12月の事業実績について

温泉施設営業再開により公共事業は前年並、民間事業は外作業の受注減を報告

3 その他



就業会員募集!



●八丈島フリーズアまつり

業務内容 受付・接客・清掃

就業期間 3月20日(金)～4月5日(日)

就業時間 9時30分～17時00分

就業場所 八形山フリーズアまつり会場

募集人員 1日あたり3名

※ご自身で会場に行ける方に限りです

締め切り 2月27日(金)

お申込みは事務局へお電話ください

電話2-4666 担当：喜田

【 配分金支払証明書の送付について 】

令和7年1～12月に就業された方に、**配分金支払証明書**をお送りいたします。

同封の『配分金収入等にかかる確定申告について』をご一読ください。
確定申告についてご不明な点は税務署または税務課へお尋ねください。

芝 税 務 署
八丈町税務課

☎ 03-3455-0551(代表)
☎ 2-1122(直通)

安全就業パトロール 令和8年1月27日(火)、
(公財)東京しごと財団シルバー事業系の坂東寛
安全活動強化支援員が来島され、「安全就業パ
トロール巡回指導」が実施されました。

午前中は浅沼功安全管理委員長・佐藤真一事
務局長・喜田秀彦主任と、三根川向地区の町道
除草作業(草刈り)・八丈植物公園の除草作業
(草取り)・やすらぎの湯(屋内清掃)・外作業詰
所・八形山リサイクルヤードの5ヶ所を巡回、午後
からは八丈町役場第2会議室にて、巡回した就業
現場の指摘事項と調査票を基に聞き取りとご指導
をいただきました。

当センターにおいては、重篤事故の発生率が
低い点は良いが、発生件数は多いので、普段か
らのフレイル(加齢による筋力や心身の活力低
下)予防や、特に夏場の体調管理を心掛けるよう
にして、事故の発生件数を減少できるよう指導が
ありました。



八丈植物公園



やすらぎの湯



八丈町役場第2会議室

伊勢商人—川喜田家と八丈島の縁を語る檜立の金刀毘羅様

渡海の安全と豊漁の神として今も厚い信仰を集める檜立・中平の金刀毘羅神社。境内に置かれた手水鉢と社殿前の獅子は江戸の大手と八丈島を結ぶ歴史の証人でもあります。



元文4年(1739)玉置四郎右衛門の後継として御船預りを勤めた檜立村の服部源蔵義憲には3人の娘がいました。長女は磯崎小次郎の妻となり、小次郎義法を産み、99歳の長命でした。二女は伊勢崎清左衛門に嫁し、清六と彦六を産み、三女は伊勢崎半七に嫁ぎ、喜惣右衛門と彦八の母となりました。つまり彦六と彦八は従兄弟同士、2人とも次男だったので、祖父の源蔵はじめ親類一同が相談して、江戸・南新堀(中央区新川1丁目)の川喜田家に奉公に出したのです。

川喜田家は、伊勢国(三重県)津から江戸に進出し大伝馬町に支店を構えた有力な木綿問屋で、いくつかの支店、暖簾分けした別家で構成されたグループは、繰綿(種を取り除いただけの、まだ精製していない綿)・質・両替・薬種・古着・茶・酒・醤油・酢・荒物(家庭で使う雑貨類)・水油・炭薪などを扱い、明治・大正をへて昭和13年(1938)までおよそ300年続きました。八丈島との取引の歴史は古く、同家に残る史料によれば、17世紀後半の延宝・天和の頃には八丈島の御船衆と取引があり、元禄5年(1692)の「惣勘定目録」によれば、八丈島に対し400両を超える貸付がありました(「流通経済大学論集」)。

彦六と彦八が川喜田家に奉公できたのは、100年以上続いた八丈島との取引が縁になったと思われます。多角経営の川喜田家ですが、2人の奉公先は隅田川沿いの南新堀河岸にあったということですから、繊維系ではなく醤油や酒を扱った支店かもしれません。2人は少年時代に島を離れ、丁稚小僧から若い衆、手代と奉公人の階段を上ったのでしょう。

2人にとって母方の実家に当たる服部家で

は二代目源蔵の息子義順が宝暦10年(1760)父の跡を継いでいましたが、彼に跡継ぎの男子がなく、中之郷・山下与惣兵衛家から与四郎基茂を養子に迎え、役を勤めていました。ところが天明5年(1785)大賀郷・城下で御船が遭難、与四郎父子と便船人22人が溺死し、荷物・金銀などまで残らず流失させてしまい、家名断絶の危機に陥りました。そこで一族が相談して、三宅島・笹本新兵衛の次男佐太郎を養子とし、九左衛門義高と改名させて寛政8年(1796)に御船預りを命じられ、ようやく家名が存続したのです。

そのころ、奉公のために島を出て25年勤めた彦六と彦八は強い望郷の念から、父母や親類に会いたいので一度故郷へ帰らせてほしいと主人に願い出たところすぐに聞きとどけられ、2人は川喜田家が仕入れてくれた商品を持って帰島しました。祖父の源蔵は2人の帰島を喜び、檜立・妻里の隠居所に住ませました。そこを拠点に2人は江戸と往来しながら商売で生計を立てました。

『八丈実記』によると、現在地に金刀毘羅様が祭られるようになったのは文化10年(1813)のこと。江戸に奉公に出ていた彦六と彦八が故郷に金刀比羅の信仰を広めようと、不動堂の境内に建立したとされます。2人が帰島するにあたり、服部家の不幸な歴史を思い、日ごろ信仰している讚岐・象頭山の金刀比羅様を檜立村中平に建立しようと江戸から上総国辺り(千葉県長生郡)まで勧誘し、間口4.5mの社殿が完成しました。服部家は経済的に厳しかったので寄付もできず名前も出せませんでした。かつて服部家に勧請した御神体をそこに移し、文化10年中央に棕櫚葉紋を彫り出した長さ1.5m高さ75cmの手水鉢が奉納され、翌年一對の獅子が造立されました(写真上)。

祭礼は10月10日、前夜は屋台も出る村祭りの空間が出現します。 伊藤 宏



金刀毘羅様の手水鉢

令和7年度事業実績							
月	区分	受託 件数	就業延 日人員	契 約 金 額			
				配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
1月	公共	44	1,672	10,617,201	717,364	1,083,761	12,418,326
	民間	12	84	422,464	12,740	45,114	480,318
	計	56	1,756	11,039,665	730,104	1,128,875	12,898,644
累 計	公共	414	14,516	87,047,693	4,220,276	8,254,625	99,522,594
	民間	204	1,430	7,584,094	286,623	778,252	8,648,969
	計	618	15,946	94,631,787	4,506,899	9,032,877	108,171,563

1月末会員数 250名 就業実人員 148名 就業率 59.2%

会員入退会状況（1月分）

入会者 よろしくお願ひします

男性 3名 女性 2名

退会者 なし

就業相談のお知らせ (要予約)

日時 3月17日(火)午後3～5時

場所 八丈町役場第2会議室

申込 お電話ください ☎2-4666

上記の日時の場合は予約が必要
ですが、何かありましたら随時事務局
までご連絡ください。

八丈町SC安全就業標語

町健診

現状維持の バロメーター

一つの輪

目くばり気くばり 思いやり

原稿募集

会報掲載用の原稿を大募集!

事務局までご連絡ください。

電話2-4666 担当: 福田

事務局より 来月の配分金支払日は、**3月16日(月)**です。

システムの都合により11時以降の振込になります。
ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。



公式ホームページもぜひご覧ください。